

区分	概要	授業科目	単位	資格取得のための必修科目		
				「社会福祉士国家試験受験資格」	「精神保健福祉士国家試験受験資格」	「介護福祉士資格」
基礎科目	社会福祉、援助技術への関心を高める科目、その実践に際しての基礎となる哲学、医学、心理学、教育学、情報など多彩な科目が開講されています。 34単位中12単位(必修8単位を含む)以上を選択履修	福祉の哲学・倫理	2			
		社会福祉発達史	2			
		民法	2			
		家族法	2			
		医学一般 I	4			
		精神保健	4			
		介護概論	4			
		児童心理学	2			
		福祉社会学	2			
		教育福祉論	2			
		福祉心理学	2			
		家族社会学	2			
		家族福祉論	2			
		専門基礎演習	2			
基幹科目	福祉の哲学・倫理を中心に児童、老人、障害者福祉、ならびに地域福祉や援助のあり方についての諸科目、社会福祉援助技術の講義、演習、実習科目などが開講されています。 49単位中45単位(必修44単位を含む)以上を選択履修	社会福祉原論	4			
		老人福祉論	4			
		障害者福祉論	4			
		身体障害者福祉論	2			
		知的障害者福祉論	2			
		児童福祉論	4			
		社会保障論	4			
		公的扶助論	2			
		社会福祉援助技術 I	2			
		社会福祉援助技術論 II	4			
		社会福祉援助技術論 III	2			
		社会福祉援助技術演習 I	2			
		社会福祉援助技術演習 II	2			
		社会福祉援助技術現場実習	4			
		社会福祉援助技術現場実習指導 I	2			
		社会福祉援助技術現場実習指導 II	2			
		社会福祉援助技術現場実習指導 III	1			
専門演習	2					
展開科目	社会福祉に関する行政、施策、医療、調査法、レクリエーション、ならびに家庭、社会、福祉に関する教育の現状とあり方についての理解を進める科目を開講。さらに実践に移すための講義、演習科目、卒業研究などの科目で構成されています。 99単位中17単位(必修6単位を含む)以上を選択履修	行政法	2			
		社会福祉調査論	2			
		地域福祉論	2			
		社会福祉法制論	2			
		地域保健	2			
		施設経営論	2			
		地域福祉計画	2			
		介護保険論	2			
		国際ボランティア論	2			
		レクリエーション活動援助法	2			
		社会福祉現場実習	2			
		精神保健福祉論	6			
		精神医学	4			
		医療ソーシャルワーク	2			
		リハビリテーション論	2			
		精神科リハビリテーション学	4			
		精神保健福祉援助技術総論	4			
		精神保健福祉援助技術各論	4			
		精神保健福祉援助演習	2			
		精神保健福祉援助実習	6			
		公衆衛生	2			
		医学一般 II	2			
		老人・障害者の心理	4			
		介護技術	5			
		形態別介護技術	5			
		介護実習	10			
		実習指導	3			
障害児・者教育論	2					
家政学概論	4					
家政学実習	2					
卒業研究	4					

注1)「授業科目」欄の は、右記で授業の内容を紹介しています。
注2)「資格取得のための必修科目」欄の は資格必修科目、 は1科目資格選択科目です。
ただし、卒業要件として必要な必修科目は別に指定しています。

科目紹介(抜粋)

<p>医学一般 I</p> <p>病気の人や虚弱者・高齢者の援助に必要な病気のメカニズム、病態、治療法などの知識を学習。また、医療的リハビリテーションや公衆衛生の現状、保健医療法制なども理解します。</p>	<p>児童心理学</p> <p>発達期にある児童の心理は、大人とは違う独特の発達を見せるもの。人格テスト、不安テストなどの心理テストを行いながら、乳幼児や児童の心理がどう発達していくかを学びます。</p>	<p>社会福祉原論</p> <p>社会福祉の歴史的役割についての知識・技能・専門性・倫理の基礎を幅広く理解することで、社会福祉やそのあり方とは何か?といった内容を探求できる基礎能力を身につけます。</p>
<p>障害者福祉論</p> <p>“障害者”と言ってもその種類は多種多様、ニーズや援助もケースバイケースです。障害のメカニズムや障害者を取り巻く環境を知り、障害者の自立に向けて必要なことを学びます。</p>	<p>児童福祉論</p> <p>児童福祉の基本的理念や関係する法、サービス体系などを一般的に学習。児童を取り巻く環境の変化や問題点を考察し、健全な成長・発達のために社会が担うべき役割を理解します。</p>	<p>社会福祉援助技術論</p> <p>ソーシャルワークの歴史、技術概論などから援助法を学びます。また、円滑な人間関係を築き、チームの一員として働く意識を高めるため、ロールプレイング、ディベートも行います。</p>
<p>社会福祉援助技術演習</p> <p>社会福祉援助の実践において必要な専門技術を実習中心に学びます。児童、老人、知的・精神障害者などのケースごとにどう接し、援助していくかを理解し、実践力を身につけます。</p>	<p>国際ボランティア論</p> <p>国際的な視点からボランティアの理念と歴史を探ります。また、国際ボランティアとして活動する人々の様子や現状を考え、各自のボランティア論を構築します。</p>	<p>老人・障害者の心理</p> <p>老化が及ぼす心理的影響、老年期の心理的問題、障害が及ぼす心理的影響、障害の時期・程度・種類から見た心理的特性への理解を深め、ケースごとにそれぞれの心理を探ります。</p>
<p>精神医学</p> <p>人間を理解する上で必須の“精神”を、医学的見地から深めます。脳や神経の機能と構造を知り、具体的症例を挙げてその概念や診断法、症例、治療法を学習。関連の法律にも触れます。</p>	<p>形態別介護技術</p> <p>障害の状態により異なる介護の内容を身につけるため、聴覚・言語障害、視覚障害、肢体不自由、知的障害など、ケースごとに必要な介護技術を学習。手話の習得や実習も行います。</p>	<p>介護実習</p> <p>2年次は老人介護施設で4週間、3年次は障害者施設で2週間、在宅介護で2週間、4年次は老人介護施設または障害者施設で5週間の実習を体験。学んだ知識を生かす実践の場です。</p>